

救急救助統計

～令和4年～



令和4年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（沖縄県）



延岡市消防本部

目次

I 救急編

第1章 令和4年の救急活動概要（救急出場件数と搬送人員）	1
第2章 令和4年の救急活動状況	4
1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(2) 事故種別の出場件数の推移	5
(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員	6
(4) 事故種別（急病）の疾病分類別の年齢区分と傷病程度	7
① 急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員	7
② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員	8
2 年齢区分別の搬送人員	9
(1) 年齢区分別の搬送人員（対前年比）	9
(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員	9
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員	10
(4) 高齢者（満65歳以上の者）の搬送状況	10
3 傷病程度別の搬送人員	11
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員	11
(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員	11
4 地区別の救急出場件数及び搬送人員	12
(1) 地区別の事故種別出場件数	12
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員	13
5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員	14
(1) 月別・曜日別の救急出場件数	14
(2) 時間帯別の事故種別救急出場件数	15
(3) 休日夜間活動状況	16
6 救急活動の内容	17
(1) 救急隊員の行った応急処置	17
7 応急手当の普及啓発	18
(1) 応急手当講習の実施状況	18
(2) 救急蘇生統計	18

8 医療機関等への搬送状況	19
(1) 医療機関別搬送状況	19
(2) 診療科別搬送人員	19
(3) 病院別搬送人員	20
(4) 不搬送の原因別出場状況	21
(5) 病院問合せ平均回数	21
(6) 救急支援（P A連携）出場状況	21
(7) ドクターヘリ活動状況	22
(8) ドクターカー活動状況	23

Ⅱ 救 助 編

第3章 令和4年の救助活動概要	24
第4章 令和4年の救助活動状況	24
1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員	24
2 月別の救助出場件数	25
3 曜日別の救助出場件数	25
4 地区別の事故種別救助出場件数	26
5 年齢別の要救助者数	26

第1章 令和4年の救急活動概要

令和4年中の救急活動状況は、出場件数6,702件、搬送人員5,632人でした。平均すると1日約18件の出場、約15人を搬送したことになります。前年と比較すると、出場件数は806件、搬送人員は381人の増加となりました。搬送人員中、65歳以上の高齢者の搬送人員は3,991人で全体の約71%を占めており、前年より424人の増加となりました。増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言の解除による人流の回復、第6、7、8波等の感染拡大による傷病者の増加、高齢化社会の進展や市民ニーズの多様化による救急需要の増大が考えられます。

このような現状の中、救急隊が現場到着時心肺停止状態の症例が121名、その内5名が社会復帰となりました。目撃のある心肺停止傷病者、重症傷病者に対し、早期のCPR、早期の除細動が有効であることから、119番通報時の口頭指導や、一般市民に対して応急手当普及啓発を実施しています。令和4年に救命講習を141回・2,383人(令和3年救命講習143回・2,378人)に実施しました。

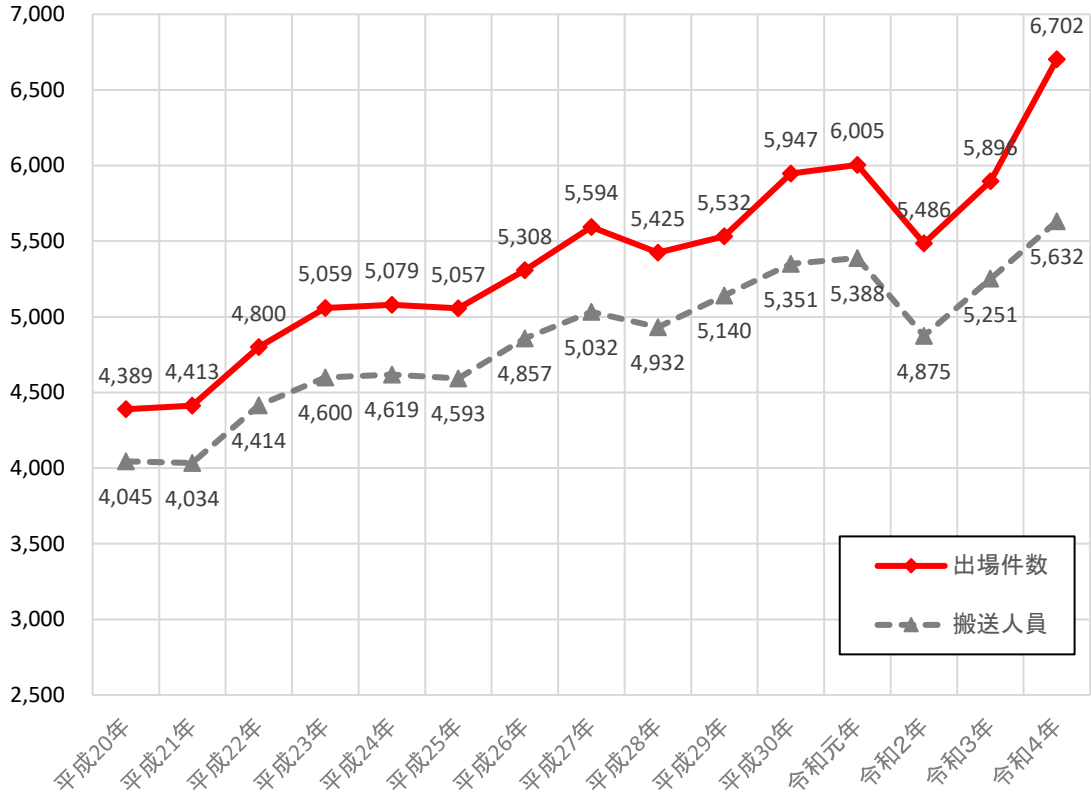
重症事案や高層階事案、繁華街事案等の救急隊のみでは活動困難な場合に救急車と共に消防車等が出場するPA連携は、844件(令和3年616件)で228件増加しており、特にCPA案件のPA連携は169件の増加となっています。場所によっては、直近の消防隊が先着し、早期に応急処置を開始することにより、救命率の向上、市民サービスの向上を図ることができます。また、救急現場へのマンパワーの充実により、これまで以上に安全かつ確実に、素早く救急活動が可能となっています。

宮崎県立延岡病院の救急車型のドクターカーが令和3年4月19日から運用を開始しました。令和4年延岡市管轄内での要請件数は215件、出場件数は198件となっています。ドクターカーは、医師の搭乗の他、高度な医療資器材を積載しており、早期の医療介入が可能となり、検査治療を行いながら病院へ搬送することができます。また、現場から傷病者を搬送することが可能なため、救急隊は早期に次の出動に備えることができます。

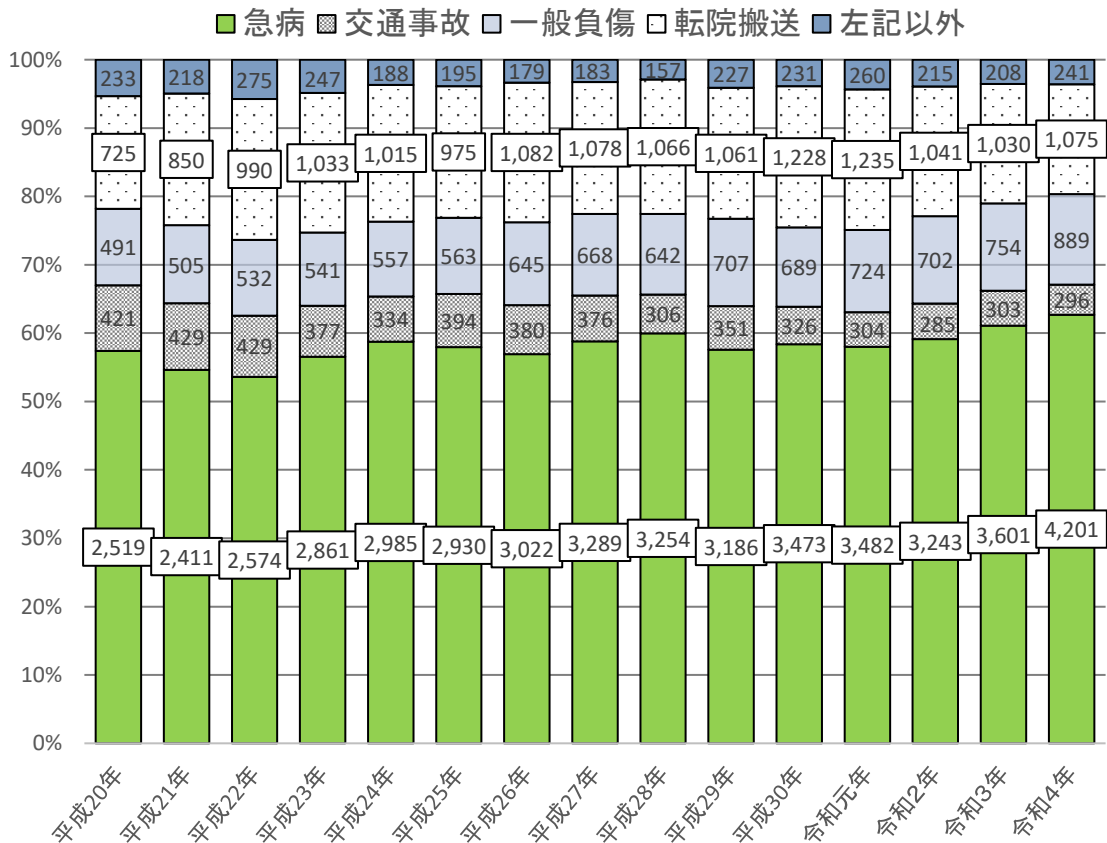
令和4年の出場件数と搬送人員

	出 場 件 数			搬 送 人 員			
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数	
火 災	37	19	18	11	3	8	
自 然 災 害	5	4	1	2	4	▲ 2	
水 難 事 故	7	3	4	0	2	▲ 2	
交 通 事 故	296	303	▲ 7	249	278	▲ 29	
労 働 災 害	51	43	8	48	40	8	
運 動 競 技	31	26	5	31	26	5	
一 般 負 傷	889	754	135	766	678	88	
加 害	16	17	▲ 1	8	14	▲ 6	
自 損 行 為	60	44	16	39	23	16	
急 病	4,201	3,601	600	3,409	3,152	257	
そ の 他	転 院 搬 送	1,075	1,030	45	1,069	1,027	42
	医 師 搬 送	1	19	▲ 18	0	0	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	33	33	0	0	4	▲ 4
計	6,702	5,896	806	5,632	5,251	381	

救急出場件数と搬送人員の推移



事故種別の救急出場件数と構成比の推移



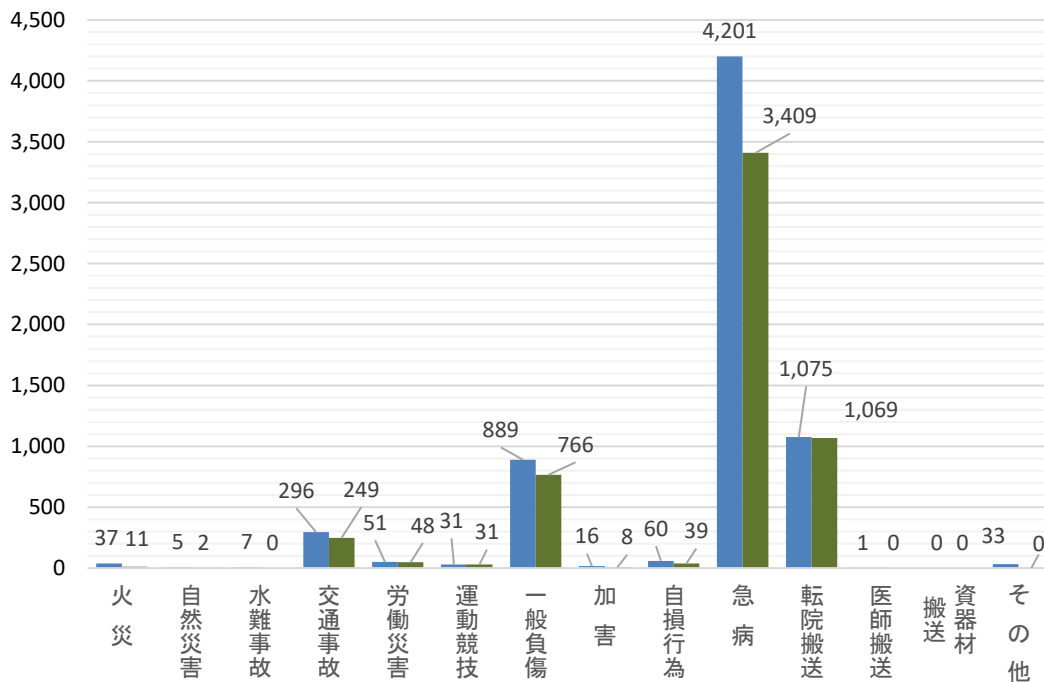
事故種別で見た出場件数では、急病が大半を占め4,201件(全体の約63%)となっており、前年の3,601件(約61%)より600件増加しています。次いで、転院搬送が1,075件(全体の約16%)で、前年より45件増加しました。

また、一般負傷が889件(全体の約13%)で、前年より135件の増加、交通事故が296件で7件の減少、労働災害が51件で8件の増加となっています。

市北部を管轄とする延岡北救急隊の出場件数は、1,508件(全体の23%)となり、前年の1,273件(約22%)から235件増加しました。市南部管轄の延岡南救急隊は、1,511件(全体の23%)となり、前年の1,402件(約24%)から109件増加しました。

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	計
出場件数	37	5	7	296	51	31	889	16	60	4,201	1,075	1	0	33	6,702
本署	21	4	3	169	25	15	471	10	35	2,193	717	1	0	19	3,683
北分署	10	0	3	61	16	10	209	3	9	1,013	165	0	0	9	1,508
南分署	6	1	1	66	10	6	209	3	16	995	193	0	0	5	1,511
搬送人員	11	2	0	249	48	31	766	8	39	3,409	1,069	0	0	0	5,632
本署	5	1	0	141	23	15	407	6	23	1,725	711	0	0	0	3,057
北分署	3	0	0	51	15	10	185	1	6	880	165	0	0	0	1,316
南分署	3	1	0	57	10	6	174	1	10	804	193	0	0	0	1,259

■ 出場件数 ■ 搬送人員



第2章 令和4年の救急活動状況

1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

事故種別の救急出場件数 (対前年比)

(単位：件)

事故種別	区分	令和4年		令和3年		対前年比	
		出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火災		37	0.6	19	0.3	18	94.7
自然災害		5	0.1	4	0.1	1	25.0
水難事故		7	0.1	3	0.1	4	133.3
交通事故		296	4.4	303	5.1	▲7	▲2.3
労働災害		51	0.8	43	0.7	8	18.6
運動競技		31	0.5	26	0.4	5	19.2
一般負傷		889	13.3	754	12.8	135	17.9
加害		16	0.2	17	0.3	▲1	▲5.9
自損行為		60	0.9	44	0.7	16	36.4
急病		4,201	62.7	3,601	61.1	600	16.7
その他	転院搬送	1,075	16.0	1,030	17.5	45	4.4
	医師搬送	1	0.0	19	0.3	▲18	▲94.7
	資器材搬送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	33	0.5	33	0.6	0	0.0
計		6,702	100	5,896	100	806	13.67

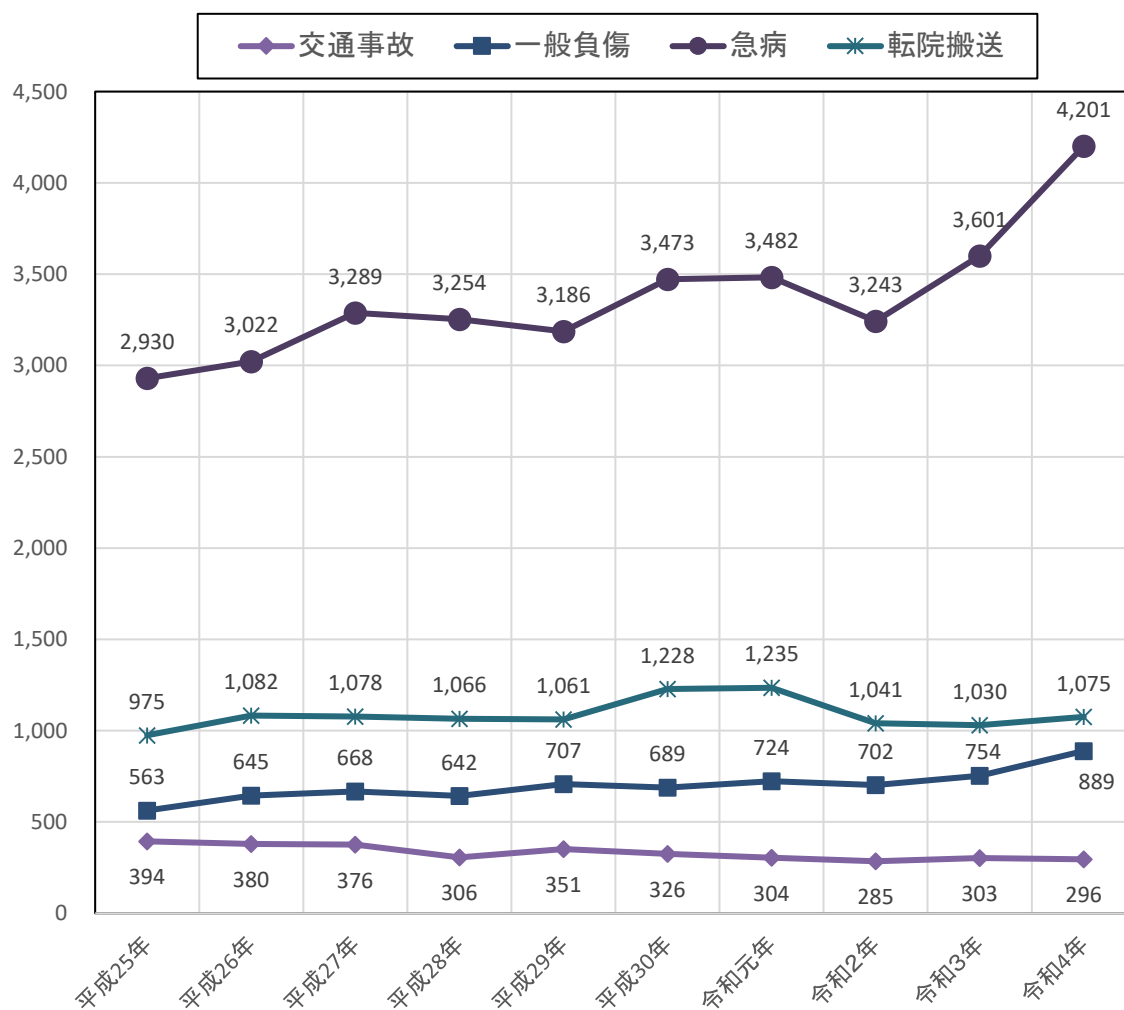
事故種別の搬送人員 (対前年比)

(単位：人)

事故種別	区分	令和4年		令和3年		対前年比	
		搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火災		11	0.2	3	0.1	8	266.7
自然災害		2	0.1	4	0.1	▲2	▲50.0
水難事故		0	0.0	2	0.1	▲2	▲100.0
交通事故		249	4.5	278	5.3	▲29	▲10.4
労働災害		48	0.9	40	0.8	8	20.0
運動競技		31	0.6	26	0.5	5	19.2
一般負傷		766	13.7	678	13.0	88	13.0
加害		8	0.2	14	0.3	▲6	▲42.9
自損行為		39	0.7	23	0.5	16	69.6
急病		3,409	60.6	3,152	60.1	257	8.2
その他	転院搬送	1,069	19.0	1,027	19.6	42	4.1
	医師搬送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資器材搬送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	0	0.0	4	0.1	▲4	▲100.0
計		5,632	100	5,251	100	381	7.26

(2) 事故種別の出場件数の推移

	出 場 件 数									
	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
出場件数	6,702	5,896	5,486	6,005	5,947	5,532	5,425	5,594	5,308	5,057
火 災	37	19	24	25	25	25	21	24	23	25
自然災害	5	4	3	5	3	5	2	0	0	0
水難事故	7	3	4	7	5	3	8	2	3	8
交通事故	296	303	285	304	326	351	306	376	380	394
労働災害	51	43	39	39	43	45	22	39	31	30
運動競技	31	26	29	41	32	45	28	42	33	33
一般負傷	889	754	702	724	689	707	642	668	645	563
加 害	16	17	13	12	17	23	19	24	24	13
自損行為	60	44	42	54	48	46	41	36	41	59
急 病	4,201	3,601	3,243	3,482	3,473	3,186	3,254	3,289	3,022	2,930
その他	転院搬送	1,075	1,030	1,041	1,235	1,228	1,066	1,078	1,082	975
	医師搬送	1	19	47	45	26	0	0	0	0
	資器材搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	33	33	14	32	32	35	16	16	24



(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員

搬送人員の多い急病、交通事故、一般負傷の傷病程度割合

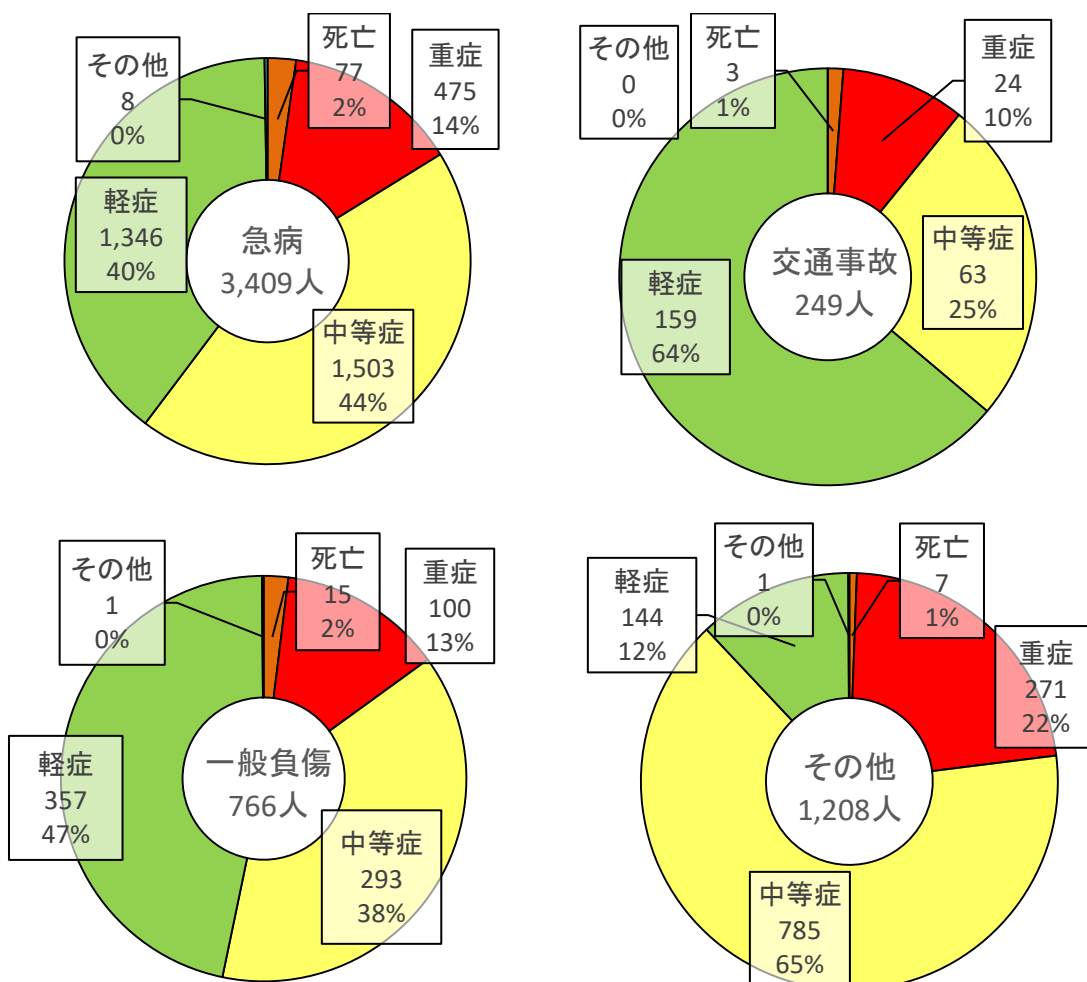
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	そ の 他	計
急 病	77	475	1,503	1,346	8	3,409
交通事故	3	24	63	159	0	249
一般負傷	15	100	293	357	1	766
そ の 他	7	271	785	144	1	1,208
計	102	870	2,644	2,006	10	5,632

死 亡 : 初診時に死亡が確認されたもの

重 症 : 3週間以上の入院が必要なもの

中等症 : 3週間未満の入院が必要なもの

軽 症 : 入院の必要がないもの



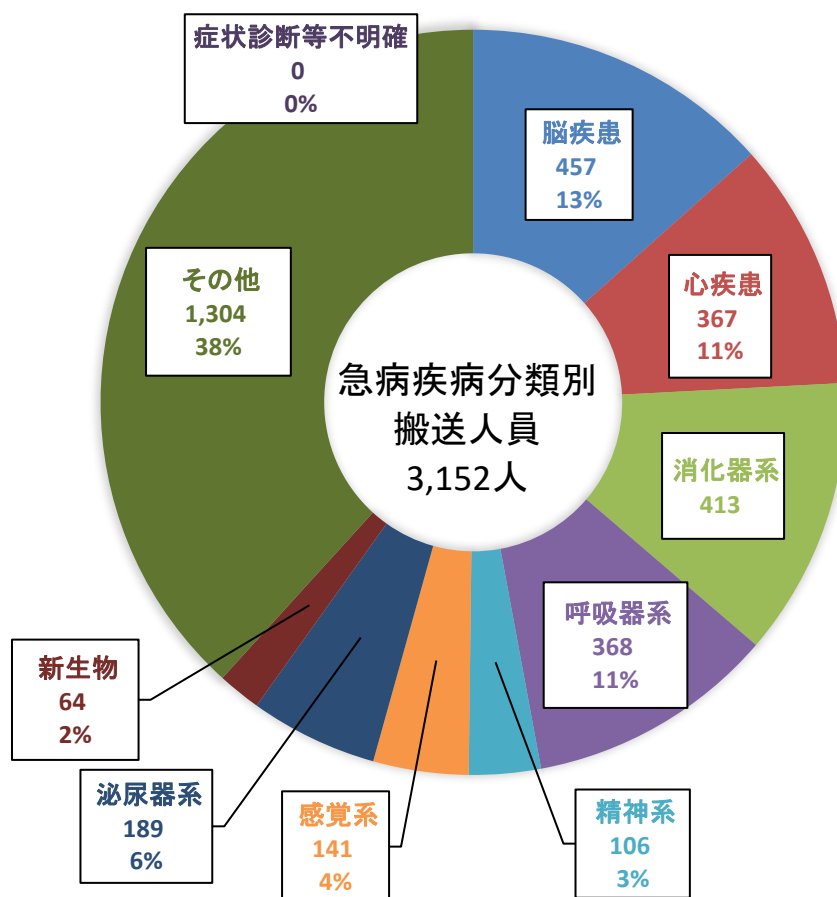
(4) 事故種別（急病）の疾病分類別の年齢区分と傷病程度

① 急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
脳疾患	0	1	2	78	376	457	13.4%
心疾患	0	0	0	61	306	367	10.8%
消化器系	0	3	4	108	298	413	12.1%
呼吸器系	0	17	6	64	281	368	10.8%
精神系	0	0	6	61	39	106	3.1%
感覚系	0	6	8	38	89	141	4.1%
泌尿器系	0	2	2	52	133	189	5.5%
新生物	0	0	0	8	56	64	1.9%
その他	1	77	48	294	884	1,304	38.3%
症状診断等不明確	0	0	0	0	0	0	0%
計	1	106	76	764	2,462	3,409	100%

(注) 年齢区分は、次により分類する。

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者

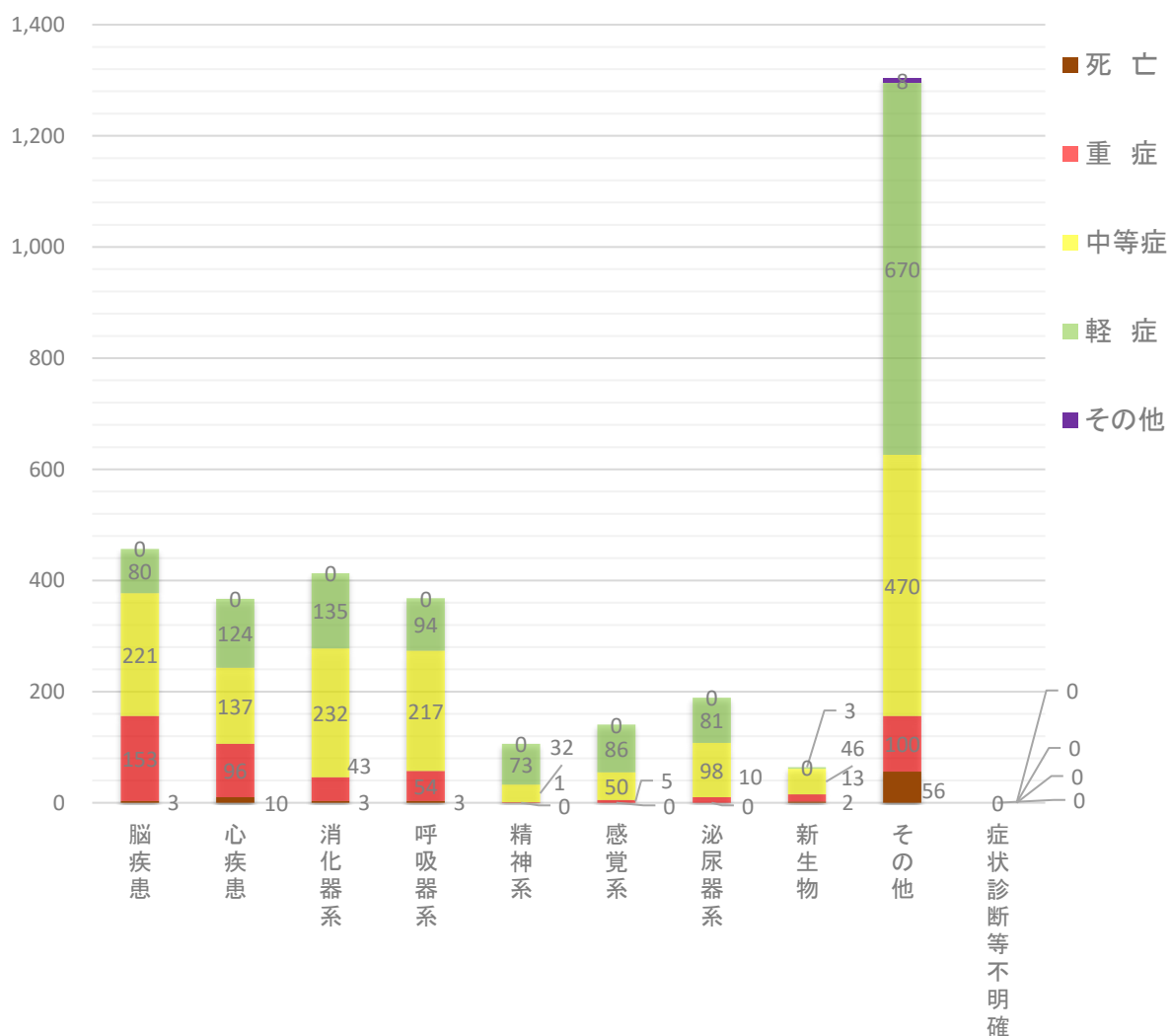


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため合計が100%にならない場合がある。

② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計	構成比
脳疾患	3	153	221	80	0	457	13.4%
心疾患	10	96	137	124	0	367	10.8%
消化器系	3	43	232	135	0	413	12.1%
呼吸器系	3	54	217	94	0	368	10.8%
精神系	0	1	32	73	0	106	3.1%
感覚系	0	5	50	86	0	141	4.1%
泌尿器系	0	10	98	81	0	189	5.5%
新生物	2	13	46	3	0	64	1.9%
その他	56	100	470	670	8	1,304	38.3%
症状診断等不明確	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	77	475	1,503	1,346	8	3,409	100%

※脳疾患においては、中等症以上の患者の割合が高くなっている。



2 年齢区分別の搬送人員

(1) 年齢区分別の搬送人員 (対前年比)

	令和4年		令和3年		対前年比	
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	構成比(%)
新生児	25	0.4	35	0.7	▲ 10	▲ 28.6
乳幼児	152	2.7	174	3.3	▲ 22	▲ 12.6
少年	155	2.8	128	2.4	27	21.1
成人	1,309	23.2	1,347	25.7	▲ 38	▲ 2.8
高齢者	3,991	70.9	3,567	67.9	424	11.9
計	5,632	100	5,251	100	381	7.3

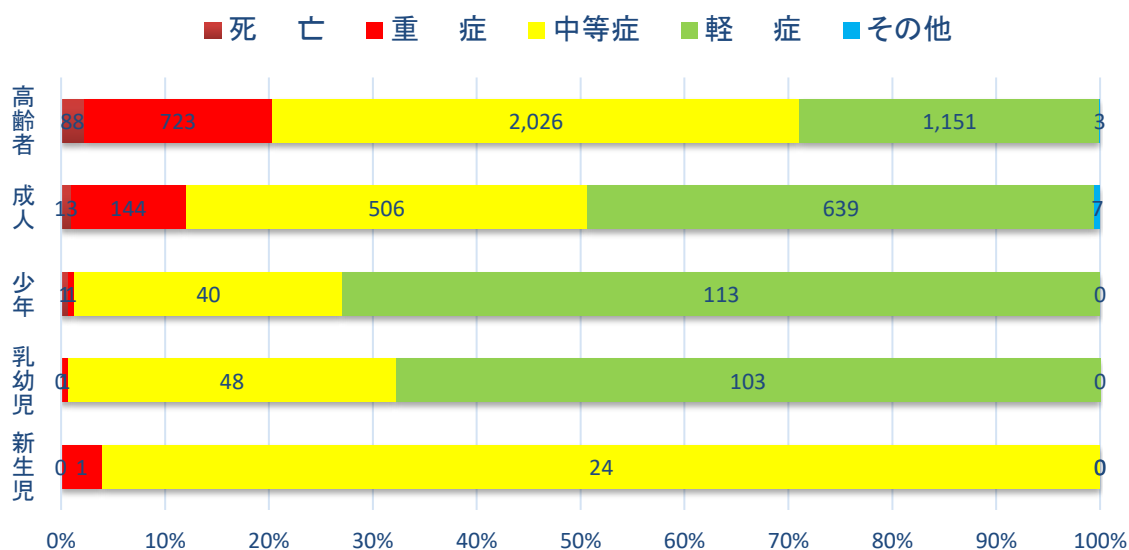
(注) 年齢区分は、次により分類する。

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者

(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員

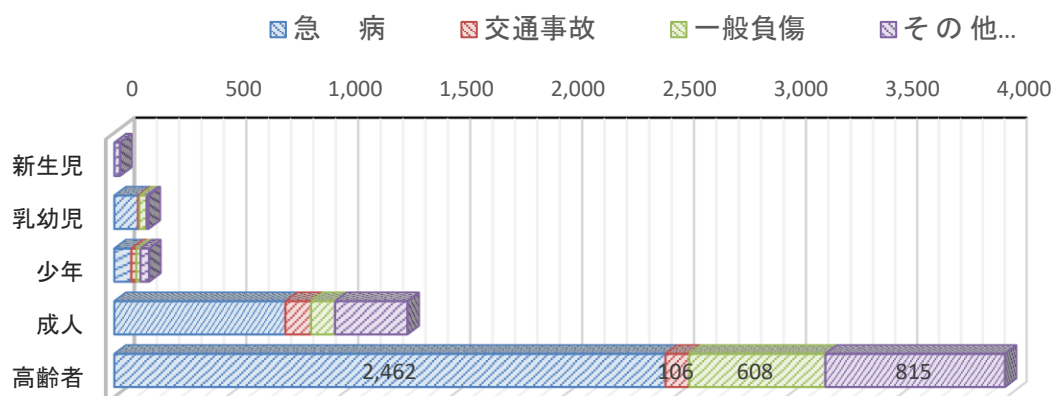
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
新生児	0	1	24	0	0	25
乳幼児	0	1	48	103	0	152
少年	1	1	40	113	0	155
成人	13	144	506	639	7	1,309
高齢者	88	723	2,026	1,151	3	3,991
計	102	870	2,644	2,006	10	5,632

死亡：初診時に死亡が確認された者
 重症：3週間以上の入院が必要な者
 中等症：3週間未満の入院が必要な者
 軽症：入院の必要がない者
 その他：入院の必要がない者



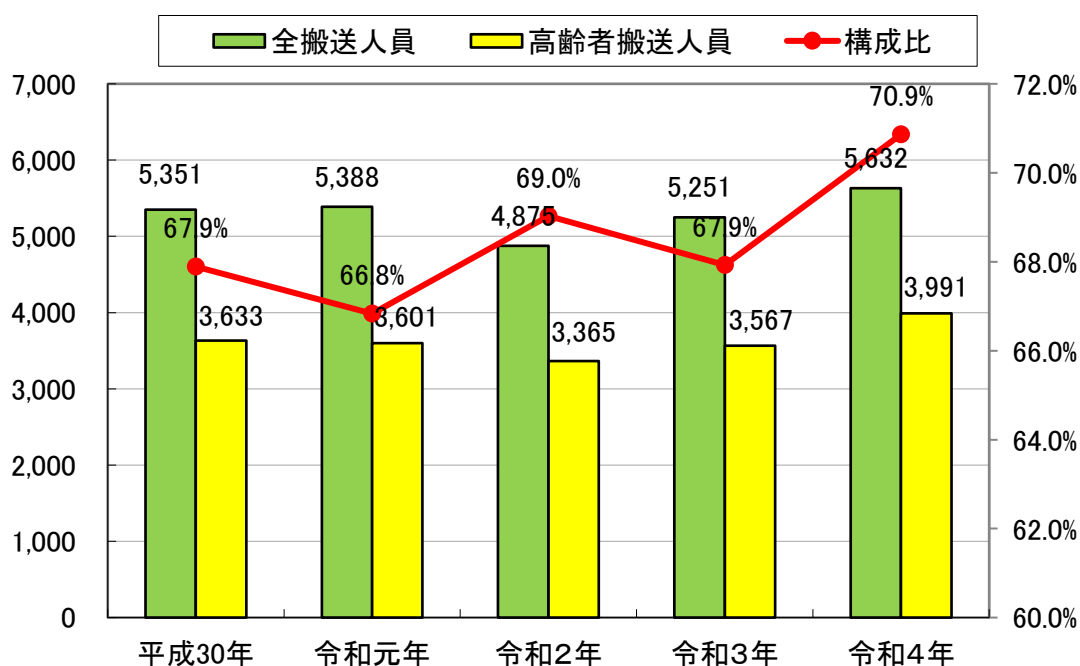
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員

	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	計	比率
新生児	1	0	0	24	25	0.7%
乳幼児	106	6	32	8	152	3.3%
少年	76	22	19	38	155	2.4%
成人	764	115	107	323	1,309	25.7%
高齢者	2,462	106	608	815	3,991	67.9%
計	3,409	249	766	1,208	5,632	100%



(4) 高齢者（満65歳以上の者）の搬送状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全搬送人員	5,351	5,388	4,875	5,251	5,632
高齢者搬送人員	3,633	3,601	3,365	3,567	3,991
構成比	67.9%	66.8%	69.0%	67.9%	70.9%

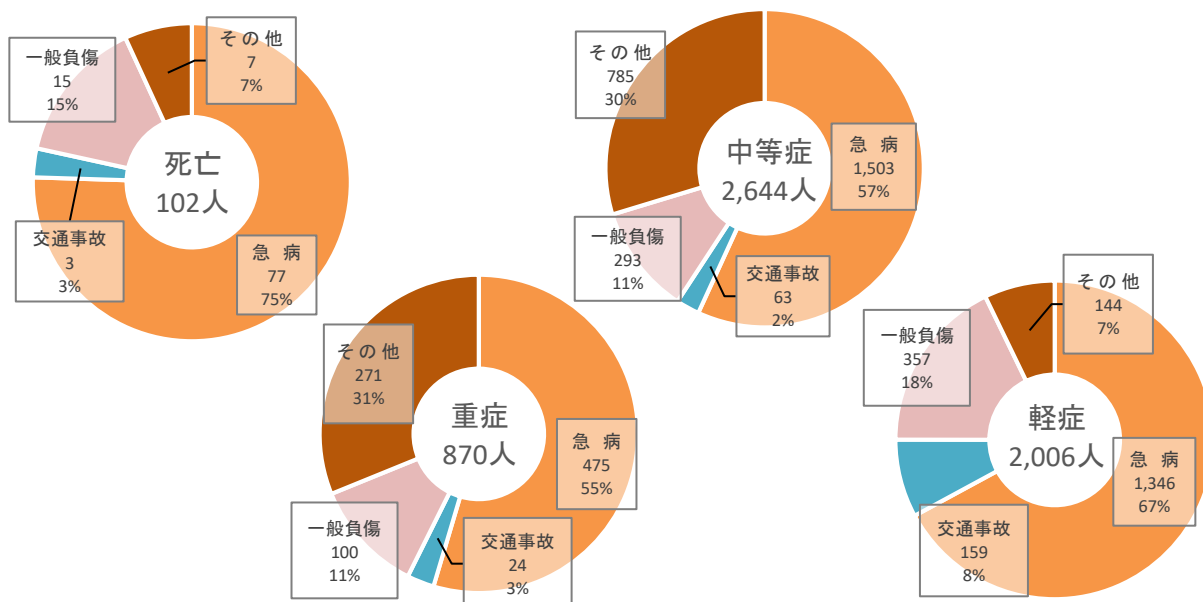


3 傷病程度別の搬送人員

(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員

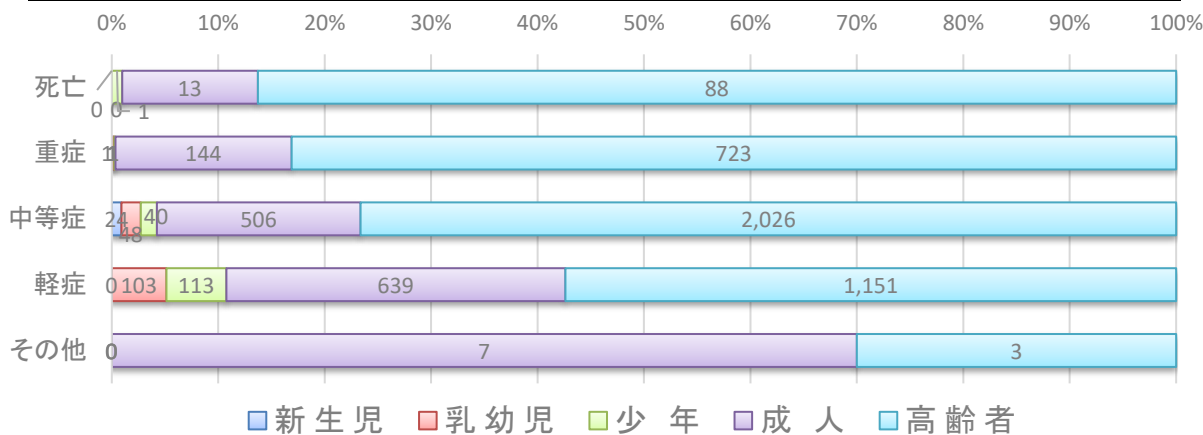
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	構成比
死亡	77	3	15	7	102	1.8%
重症	475	24	100	271	870	15.4%
中等症	1,503	63	293	785	2,644	46.9%
軽症	1,346	159	357	144	2,006	35.6%
その他	8	0	1	1	10	0.1%
計	3,409	249	766	1,208	5,632	

(注) 傷病程度は、次の区分による。
 死亡：初診時に死亡が確認されたもの
 重症：3週間以上の入院が必要なもの
 中等症：3週間未満の入院が必要なもの
 軽症：入院の必要がないもの



(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
死亡	0	0	1	13	88	102	1.8%
重症	1	1	1	144	723	870	15.4%
中等症	24	48	40	506	2,026	2,644	46.9%
軽症	0	103	113	639	1,151	2,006	35.6%
その他	0	0	0	7	3	10	0.2%
計	25	152	155	1,309	3,991	5,632	100%



4 地区別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 地区別の事故種別出場件数

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計	
		旧延岡市	北方町	北川町	北浦町				
事故種別	火災	36	0	1	0	0	0	37	
	自然災害	4	1	0	0	0	0	5	
	水難事故	5	0	0	2	0	0	7	
	交通事故	252	14	10	5	15	0	296	
	労働災害	40	2	4	5	0	0	51	
	運動競技	27	1	1	2	0	0	31	
	一般負傷	811	29	27	22	0	0	889	
	加害	14	1	0	1	0	0	16	
	自損行為	55	2	1	2	0	0	60	
	急病	3,770	129	156	144	2	0	4,201	
	その他	転院搬送	1,034	13	4	24	0	0	1,075
		医師搬送	1	0	0	0	0	0	1
		資器材搬送	0	0	0	0	0	0	0
その他		30	1	1	1	0	0	33	
計		6,079	193	205	208	17	0	6,702	

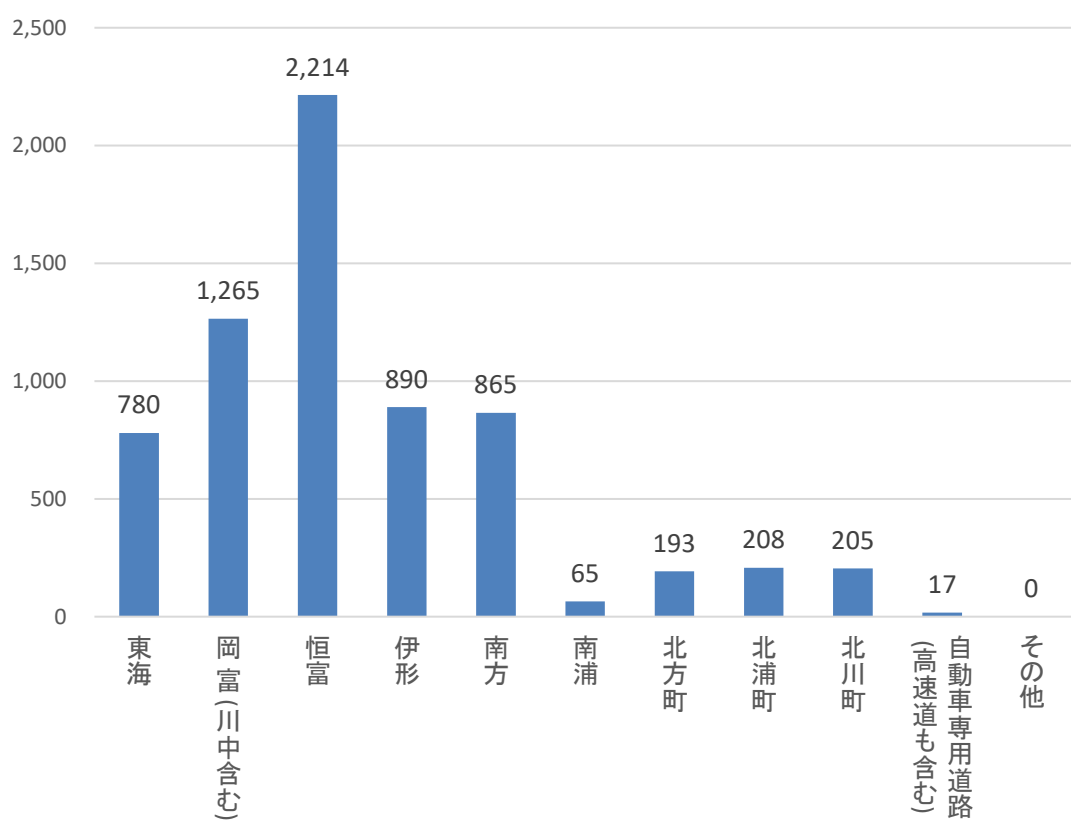
(注) 傷病程度で「その他」は、その他の場所に搬送した者。(主に防災ヘリ搬送となります。)

(2) 地区別の傷病程度別搬送人員

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計
		旧延岡市	北方町	北川町	北浦町			
出場件数		6,079	193	205	208	17	0	6,702
搬送件数		5,079	165	182	179	10	0	5,615
不搬送件数		1,000	28	23	29	7	0	1,087
うち医師搬・資器材搬		1	0	0	0	0	0	1
搬送人員		5,092	166	184	179	11	0	5,632
傷病程度	死亡	89	3	4	5	1	0	102
	重症	775	29	37	27	2	0	870
	中等症	2,416	68	78	81	1	0	2,644
	軽症	1,803	65	65	66	7	0	2,006
	その他	9	1	0	0	0	0	10

(3) 地区別の救急出場件数

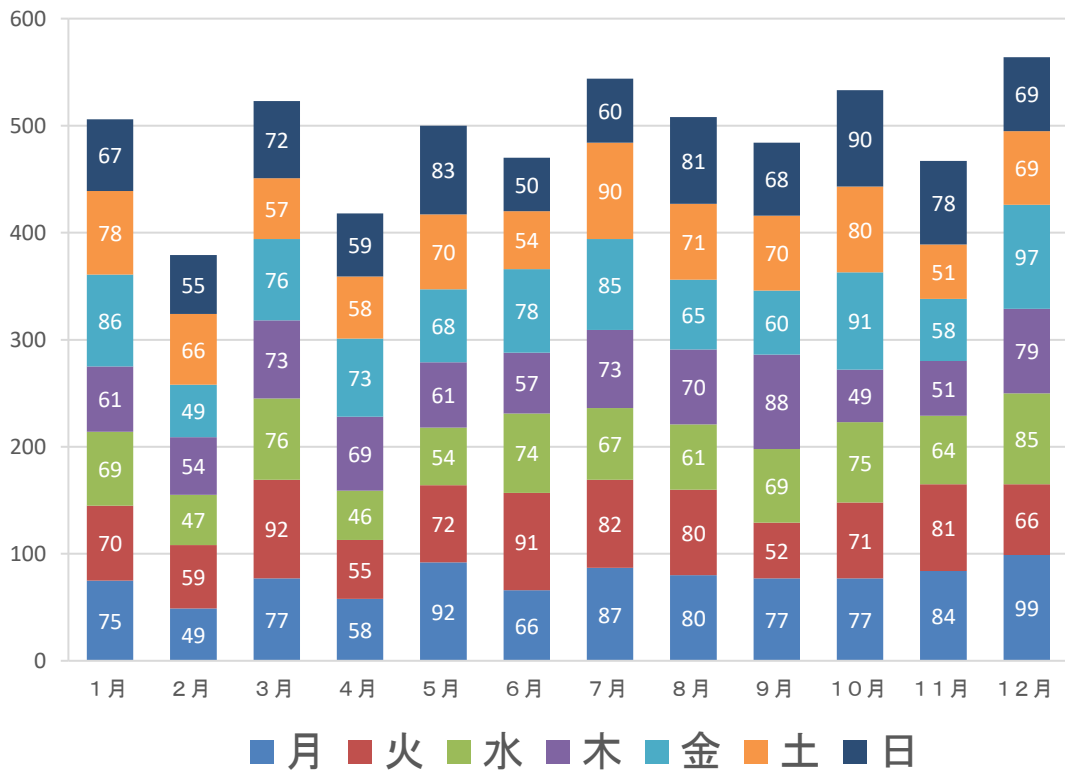
	東海	岡 富 (川中含む)	恒 富	伊 形	南 方	南 浦	北方町	北浦町	北川町	自動車専用道路 (高速道も含む)	その他	合計
令和4年	780	1,265	2,214	890	865	65	193	208	205	17	0	6,702
令和3年	659	1,104	2,011	809	750	55	149	162	184	13	0	5,896
令和2年	580	1,067	1,920	703	664	58	174	149	162	9	0	5,486
令和元年	648	1,205	2,154	717	706	65	153	147	197	12	1	6,005
平成30年	686	1,153	2,103	775	679	43	185	143	172	8	0	5,947



5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員

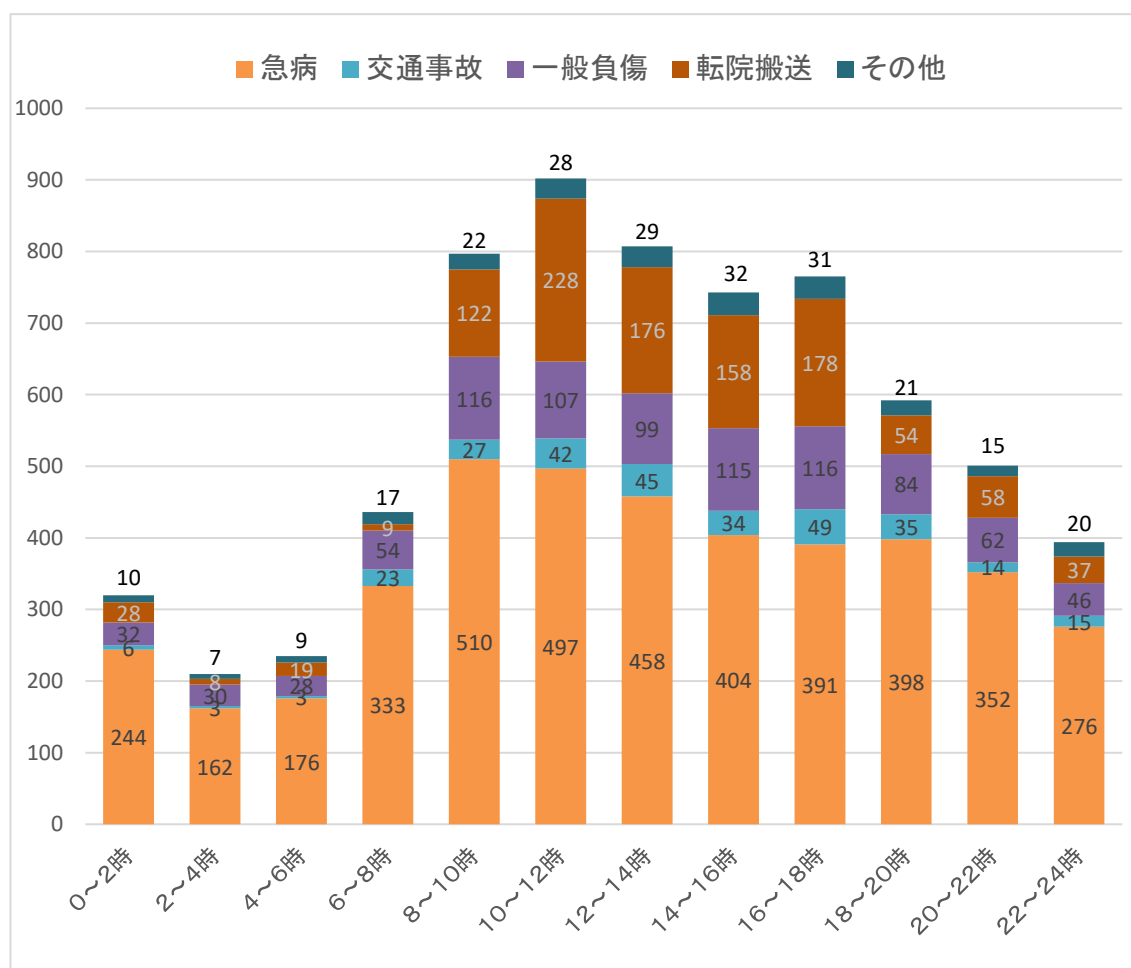
(1) 月別・曜日別の救急出場件数

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
1月	1	1	0	27	1	1	87	1	4	380	105	0	4	612
2月	5	0	0	14	3	0	68	0	4	285	70	0	3	452
3月	5	0	1	23	7	2	70	2	4	327	100	0	2	543
4月	6	0	0	21	4	0	61	1	3	313	71	0	1	481
5月	0	0	1	18	1	6	79	0	7	307	75	0	7	501
6月	1	0	0	27	7	5	70	2	8	314	90	1	1	526
7月	4	0	2	29	6	5	54	0	6	380	94	0	0	580
8月	5	0	3	25	5	1	74	2	6	453	93	0	2	669
9月	4	4	0	27	6	3	73	1	8	335	93	0	5	559
10月	4	0	0	22	3	2	76	2	5	330	89	0	5	538
11月	1	0	0	34	2	3	68	0	2	311	82	0	2	505
12月	1	0	0	29	6	3	109	5	3	466	113	0	1	736
計	37	5	7	296	51	31	889	16	60	4,201	1,075	1	33	6,702
月 曜	11	1	1	36	11	1	93	4	8	654	197	0	4	1,021
火 曜	4	0	0	32	9	4	126	0	6	601	168	0	8	958
水 曜	4	0	1	39	7	0	129	1	11	580	139	0	1	912
木 曜	7	0	2	52	5	6	119	0	14	567	179	0	3	954
金 曜	3	0	1	53	12	4	136	4	10	582	172	1	3	981
土 曜	5	1	2	43	5	5	145	2	6	596	139	0	6	955
日 曜	3	3	0	41	2	11	141	5	5	621	81	0	8	921
計	37	5	7	296	51	31	889	16	60	4,201	1,075	1	33	6,702



(2) 時間帯別の事故種別救急出場件数

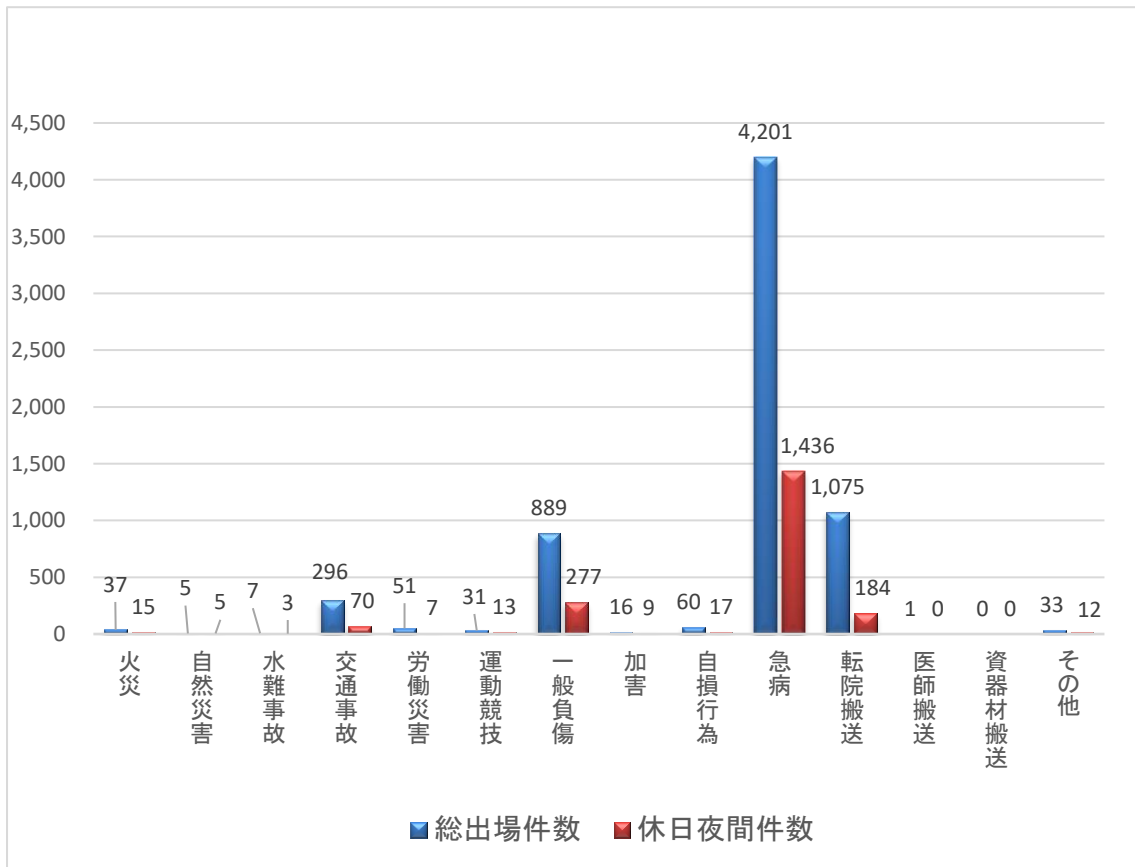
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
0～2時	244	6	32	28	10	320
2～4時	162	3	30	8	7	210
4～6時	176	3	28	19	9	235
6～8時	333	23	54	9	17	436
8～10時	510	27	116	122	22	797
10～12時	497	42	107	228	28	902
12～14時	458	45	99	176	29	807
14～16時	404	34	115	158	32	743
16～18時	391	49	116	178	31	765
18～20時	398	35	84	54	21	592
20～22時	352	14	62	58	15	501
22～24時	276	15	46	37	20	394
計	4,201	296	889	1,075	241	6,702



(3) 休日夜間活動状況

	出 場 件 数			搬 送 人 員			
	総 件 数	休日夜間件数	構成比	総 人 員	休日夜間件数	構成比	
計	6,702	2,048	30.56%	5,632	1,609	28.57%	
火 災	37	15	0.22%	11	6	0.11%	
自 然 災 害	5	5	0.07%	2	2	0.04%	
水 難 事 故	7	3	0.04%	0	0	0.00%	
交 通 事 故	296	70	1.04%	249	60	1.07%	
労 働 災 害	51	7	0.10%	48	6	0.11%	
運 動 競 技	31	13	0.19%	31	13	0.23%	
一 般 負 傷	889	277	4.13%	766	222	3.94%	
加 害	16	9	0.13%	8	4	0.07%	
自 損 行 為	60	17	0.25%	39	9	0.16%	
急 病	4,201	1,436	21.43%	3,409	1,107	19.66%	
そ の 他	転院搬送	1,075	184	2.75%	1,069	180	3.20%
	医師搬送	1	0	0.00%	0	0	0.00%
	資器材搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	そ の 他	33	12	0.18%	0	0	0.00%

休日夜間とは、土曜、日曜、祝日の全時間帯及び平日の午後10時から翌午前5時までの時間帯をいう。



6 救急活動の内容

(1) 救急隊員の行った応急処置(医療機関等へ搬送するまでの処置)

	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
対象人員	3,404	249	766	1,197	5,616
止血	15	12	40	10	77
固定	52	159	229	51	491
人工呼吸	54	0	10	9	73
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	91	3	19	8	121
酸素吸入	732	39	64	285	1,120
気道確保	145	7	16	13	181
経鼻エアウェイ	1	0	0	0	1
喉頭鏡	36	1	13	3	53
☆ラリゲアルマスク等	5	0	2	1	8
☆気管挿管	39	2	11	3	55
保温	30	2	11	14	57
被覆	21	51	171	19	262
在宅療法	246	6	22	61	335
☆除細動	9	0	1	0	10
☆心肺停止前の静脈路確保	18	2	1	2	23
☆心肺停止後の静脈路確保	34	1	7	2	44
☆薬剤投与	29	1	7	4	41
☆血糖測定	70	0	1	1	72
☆ブドウ糖投与	5	0	0	0	5
☆エピペン投与	0	0	0	0	0
血圧測定	3,204	230	719	1,152	5,305
聴診器	1,609	149	282	270	2,310
血中酸素飽和度測定	3,317	238	743	1,178	5,476
心電図	2,732	132	438	753	4,055
その他の応急処置	3,272	234	737	1,144	5,387
計	15,685	1,266	3,518	4,976	25,445

(注) ☆は、救急救命処置

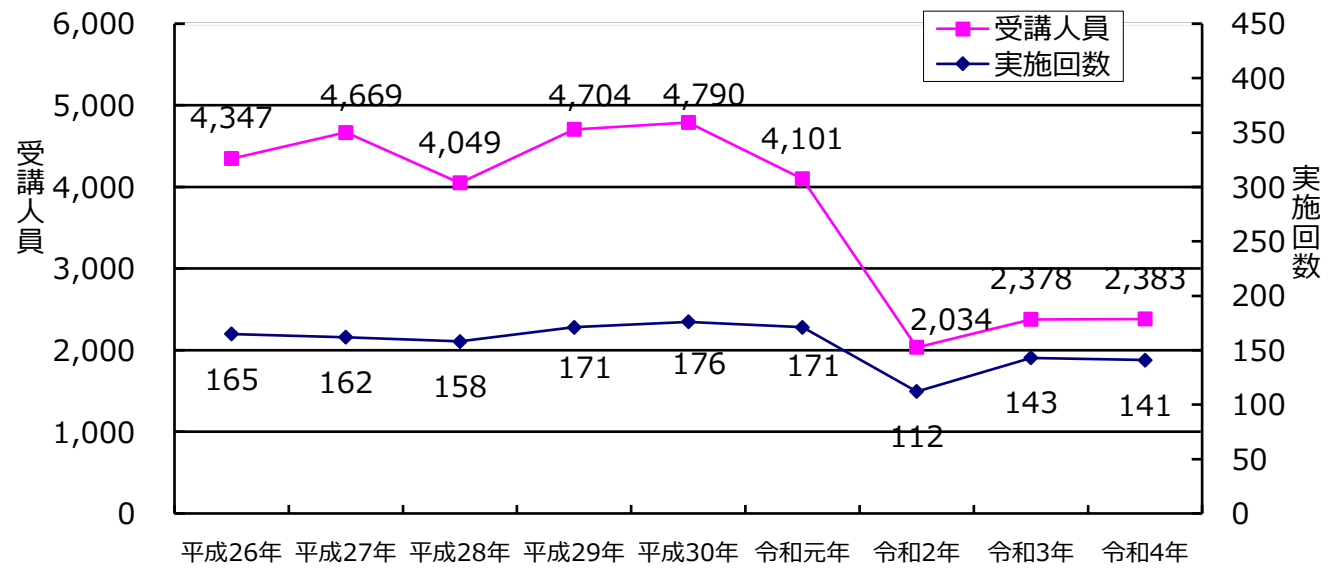
【全救急救命士】(43名) 令和5年1月現在

- 薬剤投与救命士(40名)
- 血糖測定・ブドウ糖投与、心肺機能停止前静脈路確保(32名)
- 指導致命士(6名)

※認定資格については、個人で重複します。

7 応急手当の普及啓発

(1) 応急手当講習の実施状況

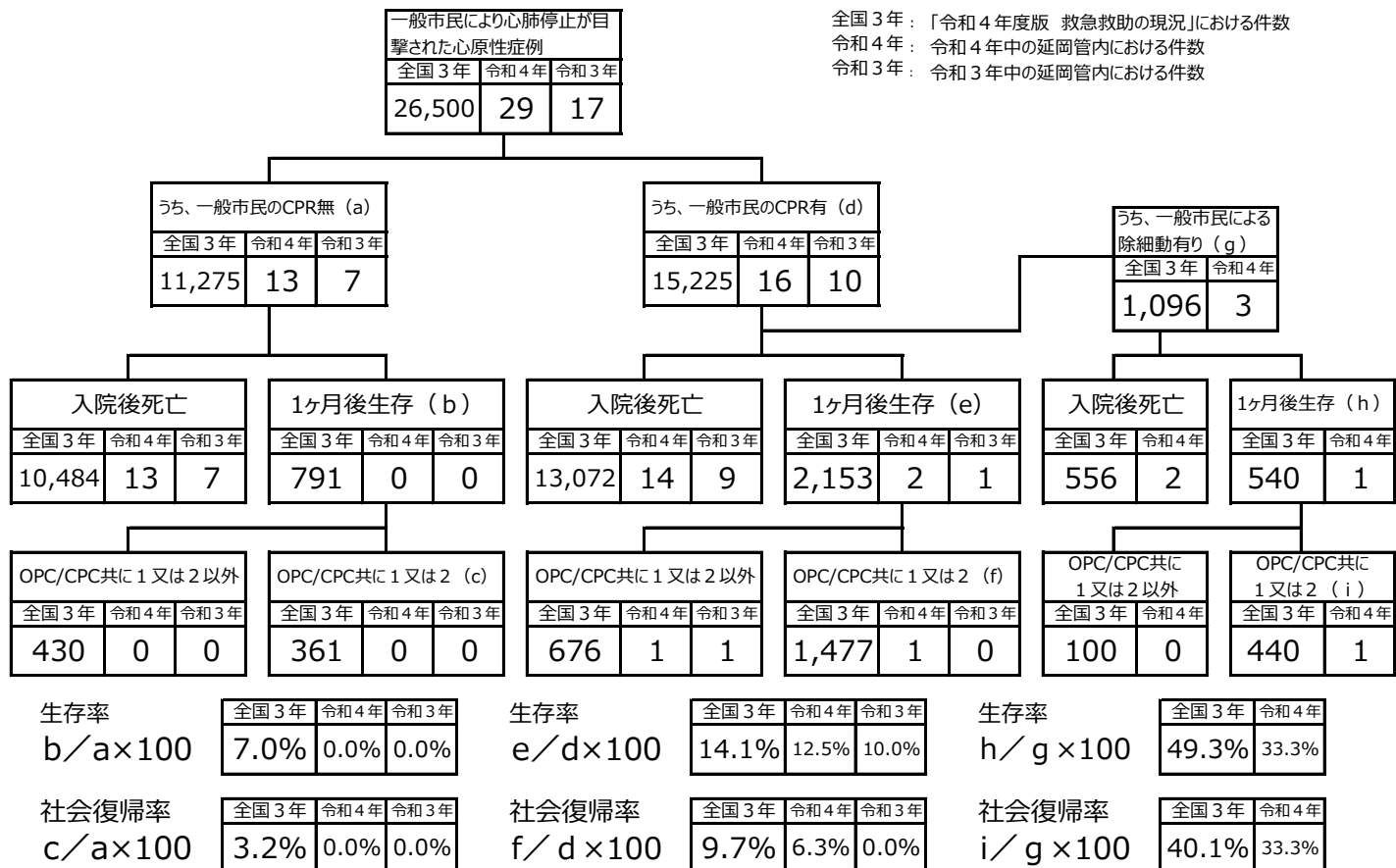


	対象者	実施回数	人員
普通救命講習Ⅰ	一般市民	32	464
普通救命講習Ⅱ	看護学生	1	36
上級救命講習	一般市民	1	5
救急入門コース	一般市民	107	1,878
合計		141	2,383

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会の中止もしくは規模縮小となり、前年程度の数となりました。

(2) 救急蘇生統計

令和4年の心肺停止患者総数は121名で、そのうち5名が社会復帰されました。一般市民による除細動により社会復帰症例が1件となりました。下記の表は、心肺停止が目撃された心原性症例の社会復帰率となっています。(心原性：心臓が原因の心肺停止)



※社会復帰率
脳神経カテゴリー (CPC)、全身機能カテゴリー (OPC) が共に1又は2であった者の占める比率

◎脳神経カテゴリー (CPC)

- ①CPC1：機能良好 意識は清明、普通の生活・労働が可能。
- ②CPC2：中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。
- ③CPC3：高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。
- ④CPC4：昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。
- ⑤CPC5：死亡、若しくは脳死。

◎全身機能カテゴリー (OPC)

- ①OPC1：機能良好 健康で意識清明。正常な生活を営む。
- ②OPC2：中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。
- ③OPC3：高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。
- ④OPC4：昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。
- ⑤OPC5：死亡、若しくは脳死。

8 医療機関等への搬送状況

(1) 医療機関別搬送人員

	救急告示医療機関		その他の医療機関	合 計
	搬送人員		搬送人員	搬送人員
国 立	27		0	27
公 立	2,879		0	2,879
公 的	17		0	17
私 的	病 院	1,043	547	1,590
	診 療 所	147	962	1,109
その他の場所	0		10	10
計	4,113		1,519	5,632

(注) 救急告示医療機関

- (1) 国 立 : 宮崎大学医学部付属病院・国立宮崎病院・国立宮崎東病院・大分大学附属病院など
- (2) 公 立 : 県立宮崎病院・県立延岡病院・熊本赤十字病院など
- (3) 公 的 : 日向病院(門川町)など
- (4) 私的病院 : 黒木病院・延岡共立病院・延岡市医師会病院・平田東九州病院
千代田病院(日向市)・和田病院(日向市)
宮崎市郡医師会病院(宮崎市)・社会保険宮崎江南病院(宮崎市)など
- (5) 私的診療所 : おがわクリニック・あたご整形外科

(2) 診療科別搬送人員

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
内 科	1,736	1,518	1,555	1,772	1,778
循環器内科	71	59	83	85	119
外 科	494	413	408	431	492
整形外科	678	614	571	566	661
脳 外 科	186	239	289	286	259
神 経 内 科	2	4	6	6	8
心 臓 外 科	2	2	9	8	5
小 児 科	86	92	69	111	113
産 婦 人 科	121	134	138	133	131
泌 尿 器 科	103	77	80	78	59
耳 鼻 科	12	17	11	16	22
精 神 科	42	37	45	45	49
皮 膚 科	3	10	2	4	11
救急科・麻酔科	2,064	2,016	1,592	1,831	1,636
眼 科	4	6	2	6	2
そ の 他	18	12	9	7	6
その他の場所	10	1	6	3	0
計	5,632	5,251	4,875	5,388	5,351

(3) 病院別搬送人員

※ 管轄内搬送人員 15 件以上の病院、医院名を掲載

あたご整形外科	81
大貫診療所	22
大崎整形外科	34
岡村病院	105
おがわクリニック	66
甲斐整形外科	23
延岡共立病院（共立病院含む）	378
黒木病院	196
県立延岡病院	2,771
県立延岡病院ドクターカー	98
桜ヶ丘ファミリークリニック	47
杉本病院	96
早田病院	154
谷村病院	106
長沼医院	26
延岡市医師会病院	133
延岡市夜間急病センター	291
延岡整形外科医院	91
延岡リハビリテーション病院	29
野村クリニック	17
平田東九州病院	312
平野消化器科	18
みぞくち医院	29
みやた内科医院	17
宮本整形外科医院	21
やなざわ整形外科内科医院	18
吉田病院	15

米田脳神経外科	94
その他の医療機関（管内）	230
その他の場所（管内）	10
計（管轄内）	5,528

大分アルメイダ病院	1
大分大学附属病院	1
協和病院	6
県立宮崎病院	6
国立宮崎病院	1
国立宮崎東病院	1
済生会日向病院	16
鮫島病院	3
高千穂国民保健病院	4
田中病院	10
千代田病院	15
宮崎医療センター	1
宮崎江南病院	1
宮崎市郡医師会病院	2
宮崎大学医学部附属病院	23
宮崎大学ドクターヘリ	1
宮崎中央眼科病院	1
和田病院	6
その他の医療機関（管外）	5
計（管轄外）	104

(五十音順)

総 計	5,632
------------	--------------

(4) 不搬送の原因別出場状況

原因	件数	構成比
辞退（到着前）	18	2%
辞退（到着後）	754	69%
拒否	50	5%
明らかな死亡	128	12%
他車（隊）搬送	13	1%
傷病者なし	45	4%
誤報・いたずら	9	1%
その他	70	6%
合計	1,087	100%

※不搬送状況は、辞退（到着後）が約69%、次いで明らかな死亡が約12%です。

(5) 病院問合せ平均回数

	平均回数
令和4年	1.57回
令和3年	1.45回
令和2年	1.48回
令和元年	1.40回
平成30年	1.30回
平成29年	1.27回
平成28年	1.28回
平成27年	1.25回
平成26年	1.26回

※問合せ回数については、増加傾向にあります。（転院搬送含む）

(6) 救急支援（PA連携）出場状況

	C P A	高層階	繁華街	加 害	防災ヘリ	ドクヘリ	高速道	交通事故	その他	計
1月	34	18	9	1	0	0	1	3	12	78
2月	26	11	3	0	0	0	1	3	14	58
3月	31	8	11	4	0	0	1	3	6	64
4月	19	11	4	1	0	0	0	4	9	48
5月	20	9	8	0	0	1	3	2	15	58
6月	37	16	3	1	0	0	0	4	15	76
7月	37	9	6	0	0	0	1	5	11	69
8月	5	10	5	1	0	0	0	2	15	38
9月	32	8	7	1	0	0	1	4	13	66
10月	52	11	6	2	0	0	0	2	9	82
11月	38	14	7	0	0	0	2	5	12	78
12月	77	15	14	3	0	0	1	3	16	129
計	408	140	83	14	0	1	11	40	147	844

※ その他の内訳は、救急隊のみでは活動困難な場合等となります。

(7) ドクターヘリ活動状況

令和4年ドクターヘリ消防別（管轄内）要請件数

機関名/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宮崎市消防局	1	3	5	3	2	2	3	1	1	4	1	3	29
都城市消防局	3	4	1	5	3	4	2	3	1	3	2	3	34
延岡市消防本部	7	2	4	2	1	2	5	3		3	4	4	37
日南市消防本部	2	2	4	2	3	2	5	5	4	3	3	4	39
日向市消防本部	2	7	2	3	1	5	4	9	2	4	2	5	46
串間市消防本部	5	5	2	3	2	7	7	6	3	6	5		51
西都市消防本部	3		1	3	2	4	2	6	2	5	1	2	31
東児湯消防本部	3	5	4	4	8	5	7	10	3	3	5	6	63
西諸広域消防本部	7	5	3	4	6	2	6	9	7	3	2	5	59
西米良村											1		1
諸塚村		1					1		1		1		4
椎葉村	1	2	1		2			1	3	2		1	13
椎葉村（上球磨消防署）													0
美郷町	3	4				4	2	5	3		3	2	26
西臼杵消防本部	2	6	5	8	2	8	5	5	7	9	5	4	66
宮崎大学医学部附属病院													0
宮崎県DMAT調整本部													0
計	39	46	32	37	32	45	49	63	37	45	35	39	499

県内及び延岡市消防本部管轄における運航実績（病院間搬送含む）

宮崎県内

	要請件数	現場出動	転院搬送	飛行前 キャンセル	飛行後 キャンセル	その他
県内	499	260	133	68	33	0
延岡	37	1	34	0	2	0

延岡市消防本部管内

	要請件数	現場出動	転院搬送	飛行前 キャンセル	飛行後 キャンセル	その他
1月	7	0	7	0	0	0
2月	2	0	2	0	0	0
3月	3	0	3	0	0	0
4月	3	0	2	0	1	0
5月	1	0	1	0	0	0
6月	2	0	2	0	0	0
7月	5	1	4	0	0	0
8月	3	0	2	0	1	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	3	0	3	0	0	0
11月	4	0	4	0	0	0
12月	4	0	4	0	0	0
計	37	1	34	0	2	0

(8) ドクターカー活動状況

平成30年4月18日から、宮崎県立延岡病院と連携してドクターカー（ピックアップ方式）の運用をしておりましたが、令和3年4月19日より宮崎県立延岡病院に救急車型のドクターカーが配備され運用が始まりました。これにより、現場到着時間の短縮が図られるとともに、救急現場で早期の医療介入が可能となりました。また、傷病者を搬送することも可能なため、救急隊は次の出動に早期に備えることができ、大きなメリットとなっています。

令和4年のドクターカー要請件数は215件、そのうち198件出動しております。

県立延岡病院ドクターカー出場状況

県立延岡病院ドクターカー 延岡市消防本部要請 出動状況(令和4年1月1日～12月31日)

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				出動前キャンセル	合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他		
1月				3			5		1	27					3	39
2月				2			3			8	2				2	17
3月	1			2	2		3	1	1	15					5	30
4月	1			2	1		2			15						21
5月				2					1	11						14
6月				6	4		2		1	7					2	22
7月					2		1			11						14
8月					1		1			3						5
9月				2	2		1			2						7
10月					1		2			12	1				3	19
11月				3	1					7					1	12
12月							3			11					1	15
	2			22	14		23	1	4	129	3				17	215

第3章 令和4年の救助活動概要

令和4年の救助件数は、昨年と比較すると大幅に増加しており、出場件数77件（33件増）、救助活動件数52件（18件増）、救助人員57人（21人増）であった。

第1表 救助出場・活動件数及び救助人員の推移

	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
平成30年	48	-14.3%	29	-17.1%	28	-17.6%
令和元年	86	79.2%	45	55.2%	48	71.4%
令和2年	74	-14.0%	47	4.4%	50	4.2%
令和3年	44	-40.5%	34	-27.7%	36	-28.0%
令和4年	77	75.0%	52	52.9%	57	58.3%

第4章 令和4年の救助活動状況

1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員

事故種別の救助出場件数をみると、建物事故の発生割合が最も多い。次いで、交通事故、その他の事故が多く、3種別で全体の77.9%を占めている。

救助人員については、建物事故とその他の事故の2種別で32人(56.1%)と占める割合が多く、次いで、交通事故が13人(22.8%)、自然災害が6人(10.5%)の順となっている。

第2表 事故種別ごとの救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
救助出動件数	3	20	5	6	0	22	3	0	18	77
救助活動 有り	3	13	2	3	0	16	1	0	14	52
救助活動 無し※	0	7	3	3	0	6	2	0	4	25
救助人員	3	13	2	6	0	16	1	0	16	57

※「救助活動 無し」には、途中帰署を含む。

○事故種別は、次により区分している。

「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

「建物事故」とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

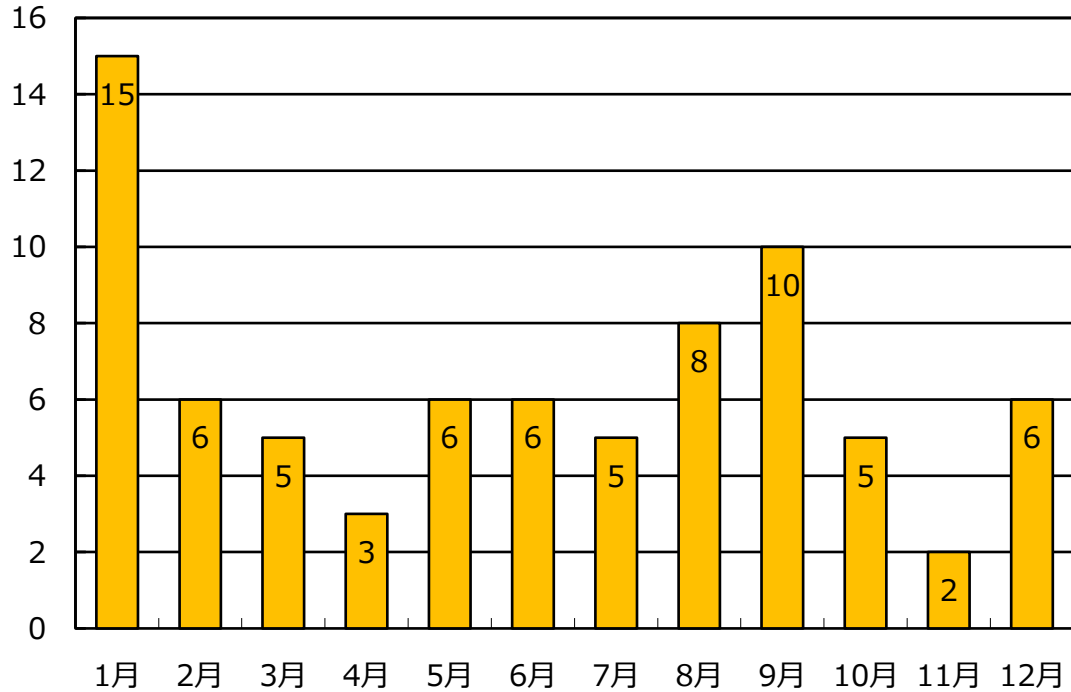
「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

「破裂事故」とは、火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

「その他の事故」とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

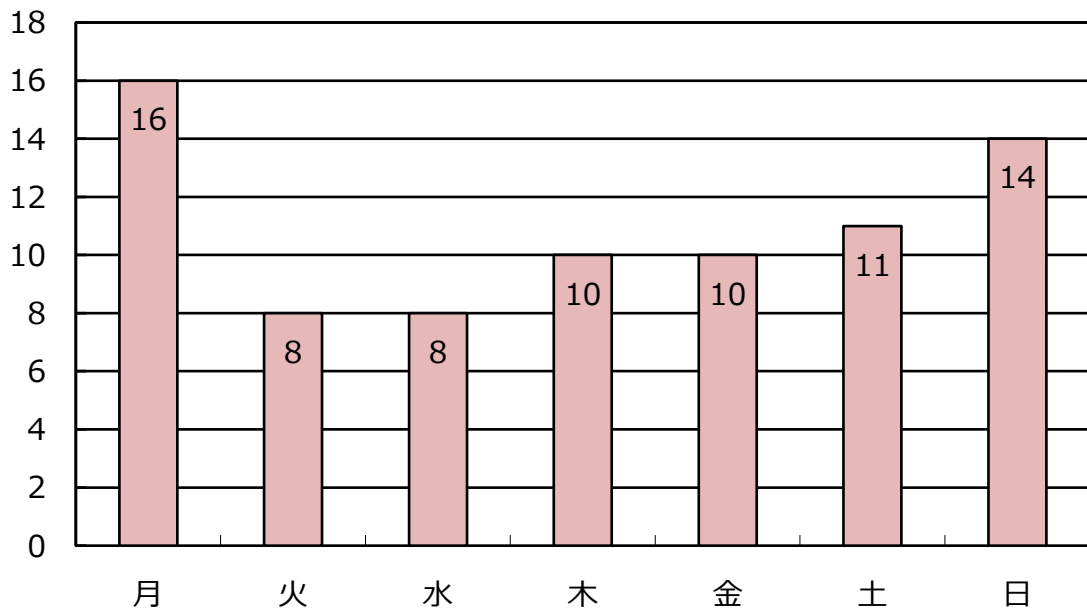
2 月別の救助出場件数

救助出場を月別に見ると、1月、8月、9月の占める割合が多く、全体の42.8%を占めている。



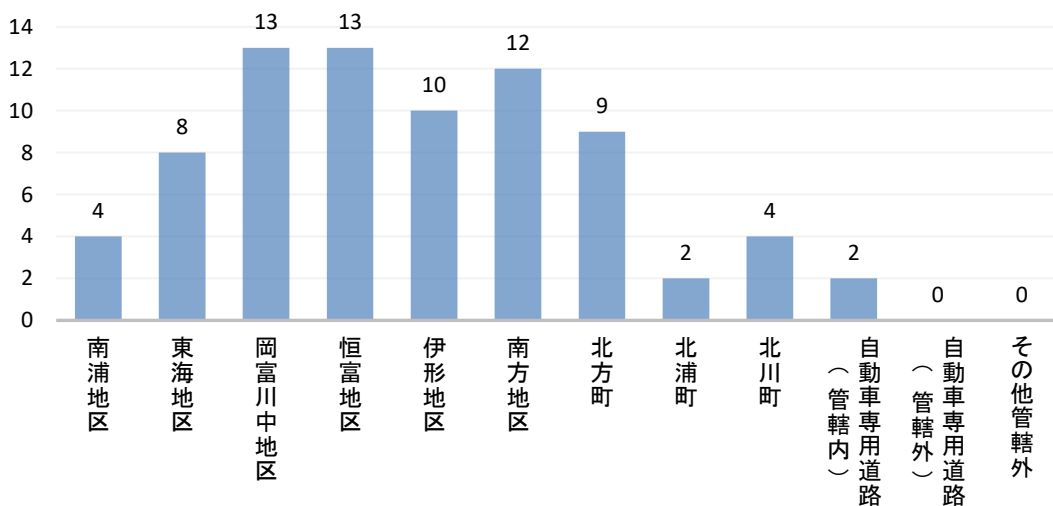
3 曜日別の救助出場件数

月曜日が最多の16件で、次いで日曜日が14件、最少が火曜日と水曜日の8件であった。



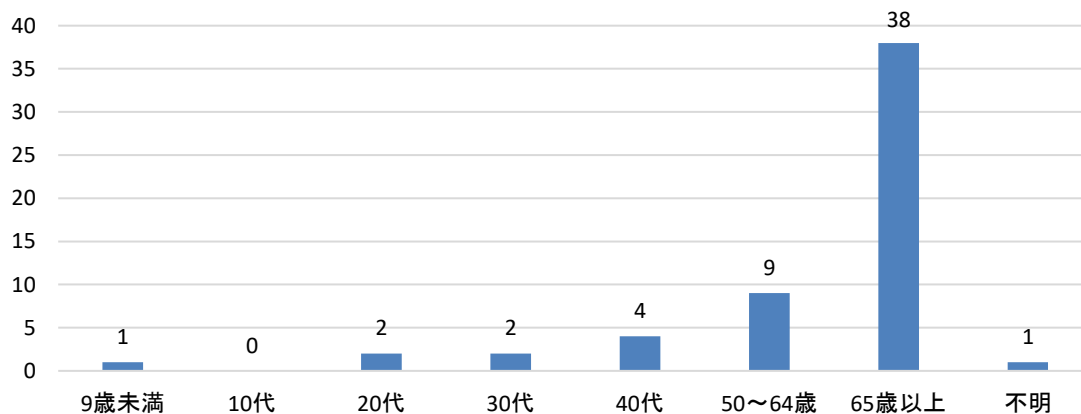
4 地区別の事故種別救助出場件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸欠及びガス事故	破裂事故	その他	計
南浦地区		1	1						2	4
東海地区	1	3				2	1		1	8
岡富・川中地区	2	2	1	3		5				13
恒富地区		5		1		5	1		1	13
伊形地区		2	1			6			1	10
南方地区		2	1	2		4	1		2	12
北方町		2							7	9
北浦町		1	1							2
北川町									4	4
自動車専用道路	管轄内	2								2
	管轄外									0
その他管轄外										0
合計	3	20	5	6	0	22	3	0	18	77



5 年齢別の要救助者数

要救助者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が38人で、全救助者数57人のうち、およそ66.7%を占めている。少子高齢化の影響から高齢者の割合が大半を占めている。





延岡市消防団と宮崎県防災救急ヘリコプターあおぞらの合同訓練



高規格救急自動車（救急2号車）



35m級先端屈折式はしご付消防自動車